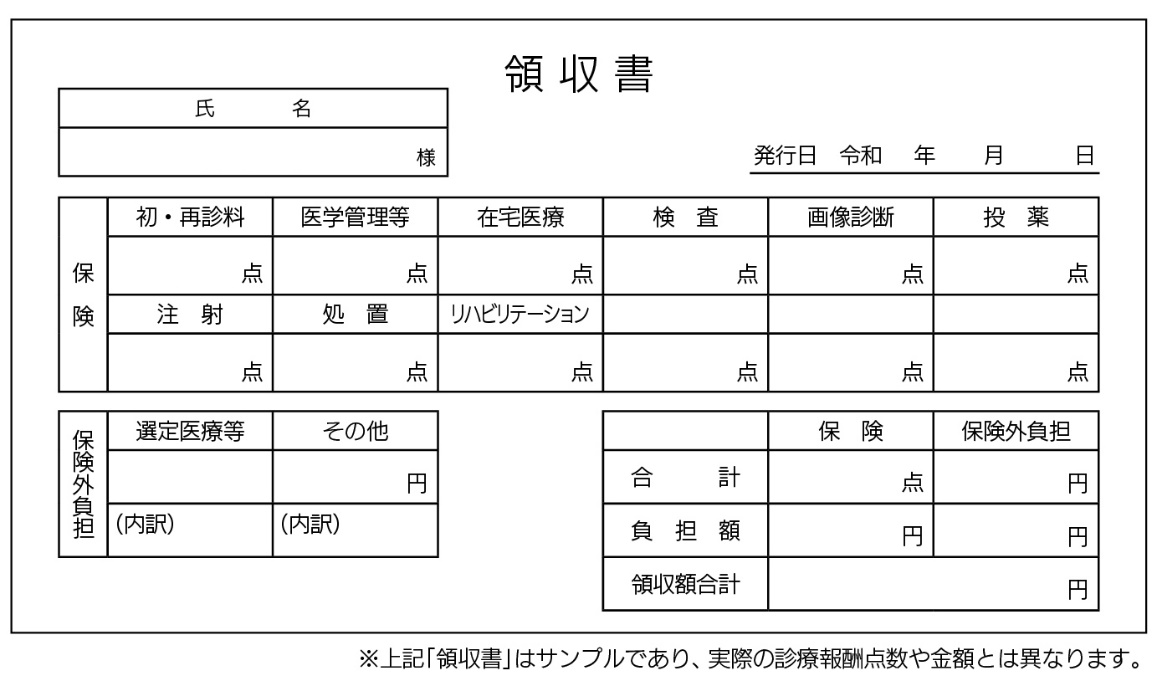
自助・共助・公助の適切な組合せについて考えよう

　　　年　　　組　　　番　　名前

**公民科Work1**

**次の医療費領収書と給与明細書を見て、（　　　）を埋めて、社会保険の給付と負担について確認しよう。**

**（１）給付の例　　【医療費領収書】**



**【医療費領収書を見ると、以下のことがわかる】**

診療報酬点数＝合計（①　　　　 　 ）点。1点につき10円なので、医療サービスに（②　　　　　 　)円かかっている。

ただし、自己負担割合が3割なので、（②　　　　　 　)円の3割（10円未満は四捨五入）の（③ 　　 　　 　 ）円が

支払う金額（自己負担）となる。 自己負担しない残りの7割にあたる（④　　　　 　)円は保険者（健康保険

事業の運営主体）から医療機関に支払われる。

**（２）負担の例　　【給与明細書】**



**【給与明細書を見ると、以下のことがわかる】**

社会保険料＝ 健康保険 ＋ 厚生年金保険 ＋ 雇用保険 ＋ 介護保険

　　＝（①　　　　　　　　 ）＋（② 　　　　　　 　 ）＋（③ 　　　　　 　 )＋（④ 　 　　　　　 ）＝(⑤ 　　 　　 　　　）円

国　税　　　　　＝所得税＝（⑥ 　　 　　　　　 ）円

地方税　　　　＝住民税＝（⑦ 　　　 　　　　 ）円

**公民科Work２1 P8〜9、P11〜12をもとに、社会保険と民間保険の違いを確認し、文章の（　　　）を埋めよう。**

（1）社会保険は、原則、加入が（① 　　　　　 　 ）で、（② 　　　　　 ）などの公的機関が運営している。

保険料だけでなく、（③　 　　　　 　 ）も財源のひとつ。基本的に、人々の生きる権利を（④ 　 　　　　　　)

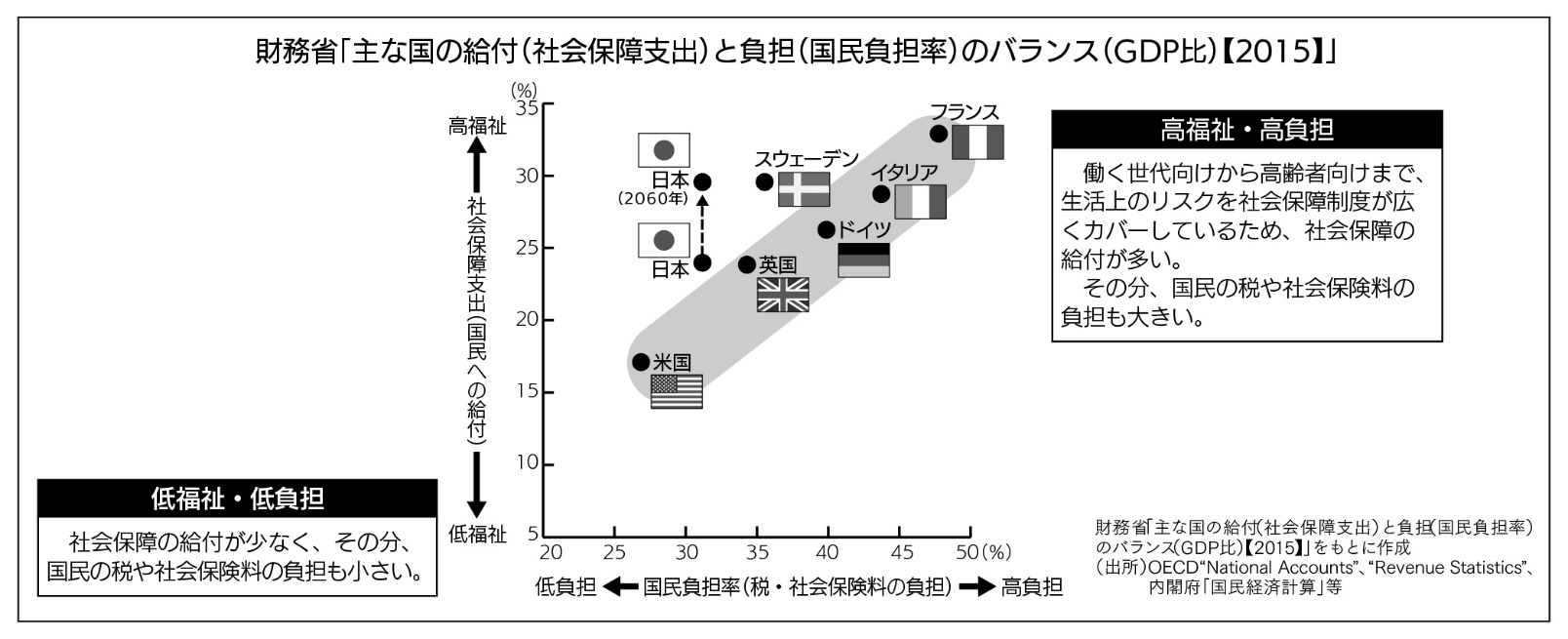
するものだが、「自然災害で家が倒壊」「交通事故で車が大破」など、対応できない（⑤　 　　　　 　　）もある。

（2）民間保険は（⑥ 　　 　　 ）加入で、取り扱っているのは（⑦　 　　 　 ）の保険会社。

加入者からの保険料をもとに（⑧ 　　　 　 　）を支払う。（⑨　 　　　　 ）でカバーできない部分を補うことができる。

**公民科Work３1 P8〜10、12および下記の資料をもとに、A〜Ｆの文章が日本、スウェーデン、アメリカのどの国に**

**当てはまるか、表内に入れてみよう。**



|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | スウェーデン | 日 本 | アメリカ |
| 考え方 | 個人では対応が難しい病気や加齢、貧困に対する支援を、政府がおこなうという共助・公助を重視した考え方。 | ⾃助・共助・公助のいずれかに極端に偏ることなく、それぞれのバランスを取りながら制度を維持するという考え方。 | 健康で働くことができる場合は、  自分の生活は自分の力で維持する  べきという自助を重視した考え方。 |
| 利 点 | （　　　　　　　　　　） | （　　　　　　　　　　） | （　　　　　　　　　　） |
| 課　題 | （　　　　　　　　　　） | （　　　　　　　　　　） | （　　　　　　　　　　） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利 点 | A）税・社会保障等の負担が極  端に高くならないよう設計することが可能である。 | B）社会保障サービスが充実  する。 | C）自らの人生設計に応じて必要  な民間保険を選択できる。自助  　 努力を中心にすれば、社会保障  制度の持続可能性は高くなる。 |
| 課　題 | D）民間保険に加入できない、ま  たは民間保険の保険料を払えない人たちが生活に困り、結果的に生活保護等の公的扶助の支出が増える恐れがある。 | E）社会保障の給付が高齢化に伴い増加しているものの、国民負担率が低いため、社会保障制度の持続可能性が課題である。 | F）　社会保障制度を持続可能なも  のにするためには、国民が相応の税金や保険料を負担する必要がある。 |

**公民科Think1 自助・共助・公助にはそれぞれ役割があります。あなたはどれが大切だと思いますか？**

**それぞれの優先順位を考えよう。**

第1位　　　　　 第2位　　　　 第3位

**その理由**